

# 江口よしのり

## の県政レポート 情熱佐賀



### 2月定例会は 過去最大の当初予算を可決

1月中旬から県内でもオミクロン株が急速に拡大し、2月2日の陽性者数は過去最高の568人を記録しました。1月27日から全県下では初の「まん延防止等重点措置」が適用され、延長を経て3月22日に解除されました。3月末現在、陽性者数は減少傾向ですが、検査数に対する陽性率は依然20%代と高く、引き続き感染対策に努める必要は言うまでもありません。

そのような中、2月17日に開会した2月定例会に提案された令和4年度の当初予算案は新型コロナ・災害対策に注力する内容で過去最大規模となる5,710億5,800万円となりました。

会期中に「まん延防止等重点措置」が延長されることに伴い、飲食店への協力金として22億3,700万円を追加する補正予算案を繰り上げて採決・可決しました。また、緊迫するウクライナ情勢を鑑み、ロシアへの抗議の決議案を緊急に取りまとめ、議事日程を変更し、繰り上げて可決しました。（県庁1階の県民ホールにはウクライナ支援の募金箱も設置されました。県議会議員は一人1万円を義援金として寄付しました。）

このほか議会中の主な動きとして、9回にわたり開催してきた「選挙区及び定数検討委員会」の結果、来年春の県議選から県議会の議員定数を1減する議員提出の条例改正案を可決しました。（伊万里市選挙区を3から2に変更）前回定数を見直した際の基準となる05年国勢調査と今回20年調査の確報値では佐賀県の人口が約5万5千人減少したことを鑑みての措置です。また、県西南部の有明海のノリ不作に関して救済措置を求める意見書案を全会一致で可決しました。しかし、後期高齢者の医療費窓口負担割合の見直し（注：引き上げ）中止を求める意見書案は、我々県民ネットワーク会派は賛成したものの、賛成少数で残念ながら否決されました。

次の議会は4月19日より3日間の臨時議会を開催します。副議長や常任委員会、議会運営委員会の委員を選任する予定です。



議会最終日（3/18）本会議場にて、議員定数削減の条例改正案に賛成討論を行いました。

#### 【発言要旨一部抜粋】

議会制民主主義において、議会の最大の役割は議事であり、熟議を尽くすこと。県民の多様な意見や要望を丁寧に汲み取り、県政に反映させるという議員の責務を果たし、議会の権能維持のためには、十分な定数が必要。それ故、定数改正については熟考を要し、特に削減に関しては、慎重であるべき。しかし、佐賀県の現状は看過できない人口減少であり、定数削減を行った上で今後も慎重な検討を継続していくことが必要。

## 【令和4年度の主な施策】

- 医療提供体制の確保（プロジェクトM）やワクチン接種体制の確保、7月頃を目途に実施予定の3回目となるGo to Eat食事券など新型コロナ対策の関連費は1,009億円になります。
- プロジェクトI・豪雨災害や内水氾濫の対策（内水監視カメラ、センサー等増設・たんぼダムの推進・河道内堆積土砂の撤去、下潟排水機場のポンプ増設等）・・・37億円
- 地域を支え県民の生命財産を守る『消防団』の活動支援・・・9,300万円
- 子育てし大県を推進（出会い・結婚支援、不妊治療支援、子育て支援）・・・10.5億円
- 2024国民スポーツ大会に向けてアスリートと指導者をサポート・・・5.2億円
- 佐賀県への移住支援（移住希望地ランキング2020で3位）・・・6,800万円
- 小学校4年生（全国は40人学級）を佐賀県は少人数学級(35人)を県独自に実施・・・1.6億円
- さが園芸888運動(トレーニングファームの拡充・大規模経営体(1ha規模)の育成)・・・25.1億円
- さがの林業再生プロジェクト(林業アカデミー開校:林業の人材育成)・・・8,500万円
- 農業大学校牛畜舎の整備(担い手育成のための教育用牛畜舎を整備)・・・2.9億円
- 佐賀県版GOTOトラベル(県内旅行代金割引・地域クーポン付与)・・・48.7億円
- 原油価格高騰への対応(事業者、農業者、漁業者の燃料費削減を支援)・・・1.9億円
- さがを支える社会資本の整備（有明海沿岸道路・城原川ダムほか）・・・390億円

## 政策実現 骨髄等移植のドナー支援策が実現しました！

骨髄等移植ドナー候補者の適合率は大変低く、非血縁間では数百から数万分の一です。ドナーは骨髄採取の際に5日前後の入院が必要です。しかし、せっかく見つかった適合者のうち、入院のために仕事を休み会社に迷惑をかけてしまう不安等により、辞退者が約6割にのぼります。私は当選以来、骨髄等移植のドナーになることの心理的・経済的負担を軽減し、協力しやすい環境づくりを推進する為の支援策創設を県に訴え続けて来ました。今回、その支援策がようやく実現しました。

### ドナー及び雇用主等それぞれへの助成

(助成単価:1万円/日、支給上限日数:7日間)

そして骨髄等提供ドナー登録啓発の広報事業の議案が可決しました。平成30年に一般質問で取り上げた時は、誠に『つれない答弁』でしたが、やっと実現に漕ぎつきました。政治の世界では言い続けることが大切と実感しました。私自身も骨髄バンク開設以来ドナー登録し、今までに適合精密検査を3回受けました。(最終候補の一人にはなりましたが提供には至らず)献血は127回です。コロナ禍で献血バスの稼働が減り血液も不足しています。いのちを守る助け合い、支援の輪が広がることを願ってやみません。



今年日本赤十字社の生みの親、佐野常民侯の生誕200周年なのです。

佐賀市の血液センターの献血プラザさがには若き日の佐野先生の大きなポスターが貼られていました。実は北海道開拓の父と言われる島義勇も同い年です。

Facebook  
絶賛更新中！

QRコードはこちら→



## 江口よしのプロフィール

佐賀県議会議員 江口よしのり S42年9月2日生れ(54歳)

中川副小、城南中、佐賀北高、早稲田大学社会科学部卒業後 米国NYに語学留学。

旅行会社添乗員、出版会社、衆議院議員公設秘書を経てH23年4月初当選(現在3期目)

〒840-2205 佐賀市川副町南里397-2(坂井バス停前)

TEL 0952-97-9977 携帯 090-2542-5223

【討議資料】